



第 13 回 例会 報告 (10月3日)

【 出 席 報 告 】

・会員数 55名 ・出席数 38名 ・欠席数 17名

・当日出席率 70.00% ・前々回修正出席率 100%

<欠席会員>原田、檜垣(俊)、檜垣(巧)、川上、木村、久米、桑森、眞鍋、松木、宮本、村上(裕)、竹田、田中、矢野

〔免除会員〕青野、松本、八木

<9/19 欠席補填>(9/10 今治南)矢野 (9/17 丸亀)檜垣(俊) (9/24 今治南)村上(裕) (10/1 今治南)青野(賢)
原田、檜垣(直)、平田、小堀、桑森、村上(修)、田中、竹田

◇石原ガバナー補佐挨拶・愛媛第一分区9クラブの中で今治 RC は来年に創立 80 周年を迎えるほどの歴史があり、飯忠悟パストガバナーが所属されているのに加え、来年度には、白石洋治会員がガバナー補佐を務められるなど手本としたいクラブである。当クラブが奉仕の実現と親睦をどのようにはかっているのか、例会と例会後クラブ協議会を通して確認し、忌憚のない意見を伺って帰りたい。

◇会長報告・白石洋治会員に 2014-2015 愛媛第一分区ガバナー補佐委託状が交付されました。

◇親睦活動委員会・お誕生日スピーチ・光藤廣司会員：77 歳の誕生日を迎えました。人生 50 年の時代では、「三十にして立つ。～五十にして天命を知る。」だったかもしれないが、平均寿命が 80 歳を超える現代では「七十にして立つ。八十にして惑はず。九十にして天命を知る。」と思っています。とは言いながら、妻からは、秘湯めぐりや神社仏閣めぐりをするようなゆとりを持った生活をしてはどうかと言われたこともあり、先般、山形県の林家舞楽を観光して一句「秋晴れや記念に妻と喜寿の旅」皆さんこれからもよろしくお祈りします。▼吉田透会員：1964 年の東京オリンピックの年に生まれました。2020 年東京オリンピックは 55 歳で迎えます。皆さんいっしょに応援をしましょう。

職業奉仕委員会アワー

◆西本信保委員長挨拶：職業奉仕委員会としての初めての事業として、同級生の濱元先生に卓話をお願いすることにした。濱元先生は、2009 年ベルリン世界陸上競技選手権のやり投げで銅メダルを獲得した村上幸史選手の指導者であることから、指導経験の卓話をお願いしたところ快くご承諾いただいた。

◆今治明德高等学校副校長 濱元一馬様『スポーツを通しての教育』：私は小さい頃から運動が好きで、夢はプロ野球選手になることだった。中学時代の恩師にあこがれて教育者になろうと大阪体育大学に進学、卒業後中学校の講師を 2 年務めた後、昭和 56 年に、恩師とある方のおかげで今治明德高校の教員に採用いただいた。その際に、「普通の教師になったのでは駄目、日本一の濱本になれ。」と言われ、実技指導ではターゲットを絞って取り組むことを助言された。助言に従い指導した村上選手の進学に際しては多くの大学から受け入れの申し出があったが、明德高校は、選手の一環指導の必要性を主張し、私を村上選手の技術指導者とするを条件にしていたので今の自分がある。自分を教育者として受け入れ育ててくれた明德高校に感謝し、少しでも恩返しをしたいと思っている。▼村上選手の良いところは、技術指導すると「はい」と返事をしてすぐに行動に移すところである。若い選手にも見習うよう指導している。やり投げの世界も技術は日々進歩しており、村上選手の周りで、最新の技術指導を受けなければ進歩しないと言われていたのを耳にし、村上選手に指導者を変えてはどうかと打診したことがあるが、「濱元先生がいてくれるだけで気持ちが落ち着く。」と言われて村上選手の気持ちに感激した。▼自分は高校の教師だが教え子の中から、村上選手のように自分を超えて大学の教育者が出てくれたことで、自分を教育者・指導者として支援していただいた方々や明德高校に対してひとつ恩返しのできたと思っている。明日から国体に行くので応援をお願いします。

<ゲスト>愛媛第一分区ガバナー補佐 石原紘一様、随員 三木秀二様
今治明德高等学校副校長 濱元一馬様

次回例会(10月10日)

【 地区大会報告 】

<会員誕生日祝> 桑森ひとみ氏 (10/14)

<配偶者誕生日祝> 原 竜也氏 (10/13)

<結婚記念日祝> 檜垣 俊二氏 (10/10) 越智 健司氏 (10/10) 平田 勝豪氏 (10/16)

<入会記念日祝> 渡辺 易廣氏 (10/14) 田中 悟氏 (10/14) 藤堂 宗昭氏 (10/14)

〔 俵屋 〕